

蕨市議会だよりナンバー233 2026年3月発行号

今回の表紙は、南町の桜並木を上空から撮影した写真です。桜並木の遊歩道が、まるでどこまでも続いているように感じられ、雄大な景観に心が癒されます。今年もまもなく桜の季節が訪れますので、ぜひ、皆さんも自然の美しさを楽しみながら、桜並木を散策してみたいはいかがでしょうか。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX 番号 048-432-7991

令和7年12月定例会

令和7年12月定例会は、11月26日から12月16日までの21日間で行われ、初日には市長より市政の報告がなされました。

11月28日には、人事案1件を原案のとおり推薦としました。

一般質問では、15人の議員が市政の様々な重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いました（6から13ページ参照）。

最終日には、市長提出議案をすべて原案のとおり可決したほか、議員提出議案6件を原案のとおり可決し閉会となりました。

12月定例会の主な議案の内容

蕨市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例

子ども、子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、乳児等通園支援事業、いわゆる子ども誰でも通園制度が創設され、令和8年度から全自治体で実施することとなったため、児童福祉法に基づき、市が認可することとなる乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を内閣府令で定める基準に準じて定めるものです。

令和7年度一般会計補正予算（第5号）

一般会計予算を、約3億500万円増額する補正予算を可決しました。

主な内容は次のとおりです。

◆消防庁舎等改修工事

消防本部庁舎に設置する、自家用発電設備の更新工事に要する費用です。

◆地球温暖化対策設備等設置費補助金

第3次環境基本計画に基づき、再エネ、省エネの加速化に向けて、地球温暖化対策設備等設置費補助事業を拡充しています。当初の予定より補助申請が増加したことに伴う増額です。

主な補助対象設備

太陽光発電システム

宅配ボックス

生ごみ処理機など

◆水路改修工事設計委託料

令和7年度に実施した水路点検に基づき、劣化状況が進行している箇所への補修工事を行うための

設計委託料です。

議員提出議案として提案された意見書 6 件を国に送付

6 件の議員提出議案を全会一致で可決し、国の関係機関等に送付しました。

二次元コードを読み込むと詳細内容をご覧いただくことができます。

議員提出議案第 5 号

巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

議員提出議案第 6 号

重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める意見書

議員提出議案第 7 号

地方税財源の充実確保を求める意見書

議員提出議案第 8 号

太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

議員提出議案第 9 号

地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書

議員提出議案第 10 号

危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書

このような理由で賛成しました反対しました

議案第 74 号「蕨市水道事業給水条例の一部を改正する条例」は、物価高騰及び埼玉県水道用水の値上げ等により費用の増加が見込まれ、令和 9 年度に資金収支不足となる見込みとなったこと等を理由に、水道料金については平均で 9.59%、水道利用分担金については平均で 27%の増額改定を行おうとするものです。施行期日は、水道料金改正が令和 8 年 4 月 1 日、水道利用分担金改正が令和 8 年 7 月 1 日です。

賛成

公明党

市民生活を支える重要な社会インフラである水道を将来にわたり安定して維持するために、今回の改定は不可避である。改定案では、3 年後に再度の見直しを行うという段階的方式を取っており、急激な負担増を避けつつ、必要な財源を確保する仕組みを整えている。市民生活と水道事業の将来を同時に守る姿勢であり、責任ある行政運営として妥当かつ適切だと考える。

賛成

日本共産党

物価高騰や県水の値上げ等への対応として必要な財政基盤を確保し、市民生活等への影響を最大限配慮した判断は評価できる。また、3年間の算定期間を設定し見直すことは、水道事業経営の在り方や市民負担を考える上で必要である。水道インフラの維持管理等の対策の重要性を認識し水道事業経営に生かす必要があり、議会の議論を通して明確な方向性が示されていると考える。

賛成

しんしょうかい

市民生活に直結する問題である。今回の提案は水道事業の独立性が担保されており、反対する理由がない。

賛成

日本維新の会

最小限の引上げをするという判断に賛同する。3年後に再度見直し、水道事業に大きな影響が出ないよう慎重な決断を要望する。

反対

わらび未来の会

県水の値上げ、また、昨今の様々な面での物価高騰を受け、令和9年度には資金ショートするという理由から、今回の値上げには理解を示す。しかし、本改定案は将来の水道事業の安定と安全を担保するものではなく、問題を先送りにする、極めて近視眼的な内容である。仮に、この資金計画で進めた場合でも、令和12年度には資金ショートするであろう。最低限度の黒字を出せるということだが、内部留保資金に頼ることで、見かけ上の負担を抑えるやり方は、将来世代への負担の先送り、また、不安定な経営計画ではないか。令和12年度においても資金ショートをさせないための最低限度の値上げをすることが私たちの考える安定経営である。独立採算制である水道事業は、将来にわたる設備の更新財源を自ら確保し、持続可能な経営を行う責任がある。昨今の物価高騰に対する市民生活や企業への影響を考慮するという事は言うまでもないが、一般会計による福祉政策で行うべきであり、水道事業の安定化とは別で考えるべきだ。

反対

無所属（榎本議員）

物価高により市民生活が苦しい状況での値上げは理解できない。一般会計からの繰入れをしても値上げせず踏ん張る時期だ。

賛成多数（賛成9人、反対8人※採決に加わらない議長を除く）により原案可決

令和7年12月定例会における議案等に対する賛否結果

12月定例会

議案第 66 号 蕨市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 67 号 蕨市特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 68 号 蕨市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 69 号 蕨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 70 号 蕨市印鑑条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 71 号 蕨市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 72 号 蕨市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 73 号 蕨市特定教育、保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 74 号 蕨市水道事業給水条例の一部を改正する条例

わらび未来の会× 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果原案可決

議案第 75 号 蕨市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 76 号 令和 7 年度蕨市一般会計補正予算 第 5 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 77 号 令和 7 年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算 第 1 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 78 号 令和 7 年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算 第 1 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 79 号 人権擁護委員候補者の推薦について わらび未来の会○ 共産党※1 下記参照 公明党○ 無所属（えのもと議員）○ 無所属（みやした議員）○ 日本維新の会○ 結果推薦

議案第 80 号 工事請負契約の締結について 仮称 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 全会一致で賛成 原案可決

議案第 81 号 財産の処分について 旧蕨市立信濃わらび山荘 全会一致で賛成 原案可決

議案第 82 号 蕨市民会館の指定管理者の指定について 全会一致で賛成 原案可決

議案第 83 号 蕨市総合社会福祉センター内社会福祉施設の指定管理者の指定について 全会一致で賛成 原案可決

議案第 84 号 蕨市立文化ホールくるる及び蕨市立旭町公民館の指定管理者の指定について 全会一致で賛成 原案可決

議案第 85 号 蕨市民体育館及び蕨市プールの指定管理者の指定について 全会一致で賛成 原案可決

議員提出議案第 5 号 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書 全会一致で賛成
原案可決

議員提出議案第 6 号 重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める
意見書 全会一致で賛成 原案可決

議員提出議案第 7 号 地方税財源の充実確保を求める意見書 全会一致で賛成 原案可決

議員提出議案第 8 号 太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書
全会一致で賛成 原案可決

議員提出議案第 9 号 地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書 全会一致
で賛成 原案可決

議員提出議案第 10 号 危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書
全会一致で賛成 原案可決

※1 日本共産党 3 名のうち、武下議員欠席、左記 1 名を除いた 2 名の議員○

※2 議案第 74 号については質疑が、議案第 74 号、議員提出議案第 10 号については討論が行
われました。質疑、討論の詳細な内容は蕨市ホームページ蕨市議会の録画放映からご覧になること
ができます。

令和 8 年 1 月臨時会

令和 8 年 1 月臨時会は 1 月 20 日に開催され、市長提出議案 5 件を原案のとおり可決、承認しま
した。また、議員提出議案 1 件が追加提案され、賛成多数で可決し、閉会となりました。

1 月臨時会の主な議案の内容

専決処分の承認を求めることについて 一般会計補正予算 第 6 号

◆物価高対応子育て応援金

子育て世帯を支援するため、0 歳から高校 3 年生までの子ども 1 人あたりに 2 万円を支給しま
す。児童手当の支給世帯に対しては、1 月 29 日にプッシュ型で支給を行い、その他の対象世帯に
ついては、申請に基づき、順次支給を進めていきます。

一般会計補正予算（第 7 号）

◆織りなすクーポン第 3 弾

全市民に 1 人 7 千円の暮らし応援券を紙のクーポン券方式で支給します。全取扱店で利用できる
共通クーポンが 5 千円分、大型店以外で利用できる専用クーポンが 2 千円分となっています。取扱
店舗は 4 5 0 店舗程度を予定しています。

議員提出議案第 1 号

蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例は、職員等の期末手当
及び勤勉手当の支給割合に準じ、議員の期末手当支給月数を年間 4.6 月から 4.65 月にしようとする
もので、わらび未来の会から提出されました。これに対し、次の 5 件の討論がなされ、採決の結

果、賛成 10 人、反対 6 人により原案が可決されました

賛成 公明党

本案は、人事院勧告による職員等の給与改定に伴い、議員報酬についても改定を行うものである。物価高騰が続く中、民間では賃上げが見られる一方、中小、零細企業では、賢明な努力が続けられている。こうした社会経済情勢を踏まえ、公務に携わる者の処遇を民間水準に見合うよう見直す必要があると考える。議員報酬についても、特別職及び一般職との均衡、公平性を確保するとともに、市民生活や地域経済の現状を真摯に受け止め、説明責任と自己規律をもって判断している姿勢を示すことが重要である。また、多様な世代が議会に参画しやすい環境を整備する観点からも、理解が得られる改定であると考え、賛成する。

反対 日本共産党

この間の社会経済状況を受けて、最低賃金や給与の引き上げをはじめ、国民の所得を増やす必要があるとの認識を持つことはこれまでも発言してきた。しかし、議員報酬に関わる判断については、より慎重で多面的な議論が必要である。そして、市民の所得状況等を見れば、議員報酬等の引き上げを行う状況ではないと考える。これまで、執行部からの同趣旨の提案があった場合には、議員間でより慎重な議論が必要との立場から、採決では退席をしてきたが、本案については、社会経済状況及び議員間で一致に至っていない議論状況の両面から判断し、議員から引き上げを求める状況にはないことは明白であるため、反対する。

反対 しんしょうかい

昨年 12 月議会で、市民の皆様には水道料金の更なる増額をお願いしたばかり。その直後に議員自らの手取りを増額することについては慎重であるべき。議員定数削減も含めた検討が必要であると考え、反対する。

反対 無所属（榎本議員）

市民の意見も有識者等の意見も聞かず、議員自身が提案し、期末手当を自分たちだけで上げてよいのか。ますます政治不信が広がるだろう。本当によいか議員一人一人が考えて行動してほしいと願う、反対する。

反対 日本維新の会

日々節約して生活が苦しい中で、市民は税金を納めていただいていることを踏まえると、我々議員の給与の引き上げは行わず、据え置くことが望ましいと考えているため、反対する。

令和 8 年 1 月臨時会における議案等に対する賛否結果

議案第 1 号 市長及び副市長の諸給与支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

わらび未来の会○ 共産党○ 公明党○ しんしょうかい× 無所属（えのもと議員）× 無所属

(みやした議員) 欠席 日本維新の会× 結果原案可決

議案第 2 号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 わらび未来の会○ 共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属(えのもと議員)○ 無所属(みやした議員) 欠席 日本維新の会○ 結果原案可決

議案第 3 号 令和 7 年度蕨市一般会計補正予算 第 7 号 わらび未来の会○ 共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属(えのもと議員)○ 無所属(みやした議員) 欠席 日本維新の会× 結果原案可決

議案第 4 号 専決処分承認を求めることについて 令和 7 年度蕨市一般会計補正予算 第 6 号 わらび未来の会○ 共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属(えのもと議員)○ 無所属(みやした議員) 欠席 日本維新の会○ 結果承認

議案第 5 号 令和 7 年度蕨市一般会計補正予算 第 8 号 わらび未来の会○ 共産党○ 公明党○ しんしょうかい○ 無所属(えのもと議員)○ 無所属(みやした議員) 欠席 日本維新の会○ 結果原案可決

議員提出議案第 1 号 蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 わらび未来の会○ 共産党× 公明党○ しんしょうかい× 無所属(えのもと議員)× 無所属(みやした議員) 欠席 日本維新の会× 結果原案可決

※ 1 無所属(みやした議員) 欠席

※ 2 議案第 1、3 号については質疑が、議案第 1 号、議員提出議案第 1 号については討論が行われました。質疑、討論の詳細内容は蕨市ホームページ蕨市議会の録画放映からご覧になることができます。

市政を問う！一般質問

12 月定例会では、10、11、12 日の 3 日間で 15 人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

将来を見据えたごみ戸別収集の検討を

しょうの こうじ議員(わらび未来の会)

議員 ふれあい収集の対象者の拡充について、高齢者以外にも一時的なけがや病気等、限定的な期間のニーズに対応する仕組み等を検討する考えはあるのか。

市民生活部長 短期利用等、どういったニーズがあるのか調査、研究していきたい。

議員 対象者の拡充を要望する。また、戸別収集を実施するメリットはどのようか。

市民生活部長 ごみの分別化、減量化、ごみステーション管理の負担軽減につながり、市民側と行政側の両面からのメリットが多いと考える。

議員 高齢化が進んでいる地域や集積所の確保、管理が困難な地区等、一定の条件を満たす場所を限定した上で、戸別収集を試行的に実施し、効果や課題等を検証する考えはあるか。

市民生活部長 試行にも多くの人や車が必要になる等、様々な課題がある。また、住宅環境等も十分に精査していきたい。

議員 今すぐ戸別収集を導入することは困難だとしても、最終的には全戸戸別収集を目指すことを強く要望する。

ふるさと納税制度への本市の取り組みについて

議員 ふるさと納税のリポートにつながる返礼品について、具体的な方向性はあるか。

総務部長 消耗品型や定期便型を事業者に提案し、検討していきたい。また、スポーツや文化については市内に所在する施設があるため、体験型の返礼品として、市内事業者の協力をいただきながら、工夫を凝らして、新たな返礼品を増やしていきたい。

議員 ほかに、返礼品に頼るのではなく、使い道を明確にした応援型メニューが増えてきており、そういった取り組みも視野に入れていただきたい。

住宅耐震化事業について

議員 本市では、旧耐震基準住宅を対象に、無料簡易耐震診断を実施しているが、対象拡大を検討する考えはあるか。

都市整備部長 市内の旧耐震基準住宅の改善の状況、また、関係職員の体制等も勘案するとともに、近隣市の動向等を見極めながら検討する。

議員 耐震改修は費用負担により断念する方も多いため、補助金額を引き上げてほしい。あわせて、耐震診断をその場で受け付ける出前窓口や、耐震診断を行う建築士の派遣制度の導入についても要望する。

発達に不安のある児童、生徒への支援体制と心のケアについて

おかだ みきお議員（わらび未来の会）

議員 本市では、近年、スクールカウンセラーの増員が図られたと認識しているが、その背景には発達障害や不登校、その他児童、生徒の抱える心の問題の増加があると考えられる。スクールカウンセラー増員の具体的な理由と、その経緯についてはどのようなか。

教育長 不登校や問題行動、いじめといった様々な課題に悩む子どもたちや保護者からスクールカウンセラーへのニーズが高まってきたことが理由として挙げられる。市長マニフェストにスクールカウンセラーの増員が盛り込まれたことにより、県から派遣されている4名に加え、市独自に1名を雇用し、現在は5名のカウンセラーを配置している。

議員 相談が増えたことに対する具体的な対応策は。

教育長 相談支援体制強化、教職員の専門性向上、不安や悩みを抱える保護者への支援の3つの側面から効果的な支援策を着実に進めていきたい。

議員 発達に不安のある全ての子どもたちが、個別のニーズに応じた質の高い安定した支援を公平に受けられるよう、計画的かつ継続的な政策を実施するよう強く要望する。

本市におけるDXの取り組みについて

議員 蕨市DX推進計画に伴う進捗状況、及び計画を進める上での課題はどのようなか。

総務部長 本計画で新たに定めたアクションプランでは、本年度において、母子健康手帳アプリ「わらべび」、ICTを活用した図書館サービス、市公式ライン、災害救助用ドローン、文書生成AI等、7業務を実施し、市民の利便性向上と行政事務の効率化を推進している。課題については、システム導入に多額の費用がかかることやDX推進のための人材育成等と考える。

議員 ICTの専門職員を市職員として採用し、DX推進を図る考えはないか。

総務部長 他の自治体において、ICTの専門職員を採用し、業務の効率化や住民サービスの向上に一定の効果を上げている事例がある一方、人材の確保や役割分担等が課題と考えており、引き続き、調査、研究していきたい。

議員 先進市の状況も踏まえながら、本市でもぜひ進めていってほしい。

ほかに マイナンバーの普及、啓発及びサポート体制の構築について質問。

マイナ救急の運用状況及びマイナ保険証の普及、活用について

とちもと よしかね議員（わらび未来の会）

議員 令和7年10月から、予備車を除く全ての救急車にマイナ保険証の読み取り端末が試行的に導入され、実証事業が開始されている。運用状況及び課題はどのようなか。

消防長 10月及び11月の救急搬送人数608人のうち、マイナ保険証の所持者から同意が得られた人数は160人、照会できた人数は100人。正確な医療情報を入手することで、より適切な応急処置や医療機関の選定が可能となった。マイナ救急の認知度向上が課題であるが、現在までも周知、啓発に努めてきており、今後もあらゆる機会を通じて、広報の充実に努める。

議員 マイナ保険証を所持していない方との公平性についてはどのようなか。

消防長 今までどおり聞き取り等で情報収集をしたり、傷病者の状態を救急隊が観察しながら救急活動を実施するため、原則としては不利益が生じることはない。

議員 マイナ保険証、マイナ救急の普及がさらなる市民の安心、安全につながることを期待している。

高齢者福祉施策の推進と市民サービスDXの推進について

議員 現在、体力測定を行うからだ健康チェック会等、身体機能を把握する取り組みが行われており、今後、このような機会の充実にについてはどのようなか。また、男性の参加率向上のため、どのような検討をされているのか。

健康福祉部長 開催場所や回数等について充実に向けた検討をしていきたい。男性にもより興味を持っていただける内容の検討が必要であり、講座名の工夫等も併せた検討を行ってしていきたい。

議員 男性の参加者拡大や地域イベント、スポーツ大会との連携等、より参加しやすく、効果的なアプローチに、積極的に取り組んでいただきたい。

市民サービスDXの推進による福祉保健、消防部門のデジタル連携の方向性についてはどのようなか。

消防長 デジタル連携による情報共有の迅速さや事務効率の向上等、DX推進によるメリットがある一方、技術的要件や費用対効果等の課題もあることから、関係部局と意見交換を進めていきたい。

議員 今後も市民の命と健康を守るため、救急、福祉、保健の連携とDX推進が着実に進展することを強く期待する。

災害弱者について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 防災情報の伝達手段として音声コードを活用した「耳で聴くハザードマップ」アプリを早期に導入し、誰一人取り残さない防災、減災体制を整備してはどうか。

市民生活部長 本アプリは、外出先等でも防災情報を音声で確認できるため、視覚障害者にとって大変有用なものである。利用には県による一括導入が要件となることから、県に対して、導入の検討を要望している。

議員 災害時や緊急時における障害者の避難体制についてはどのようなか。

市民生活部長 障害者や要介護認定者等で一定の要件を満たす方々の避難を支援するため、地域との協働で個別計画書の作成を進めている。支援が必要な方に積極的に登録いただくため、制度の周知に努めていく。

議員 災害弱者への避難計画は担当課だけではなく、福祉、医療の連携等、地域住民の協働が不可欠だと考える。庁内の各部署が連携する体制を整えて、実効性のある計画を広げていくよう要望する。

蕨市立病院整備事業について

議員 建設費高騰や少子高齢化、将来への財政負担を踏まえて、病院建替えには規模縮小等の検討が重要と考える。市長の見解は。

市長 市立病院は市内で唯一の救急医療機関であり、災害時には市民の命、健康を守る役割を果たさなければならない。建設費の高騰に対応したローコスト化や、場合によってはダウンサイジングも含めた検討と、さらなる経営改革を行っていく必要がある。議員市民が安心して利用できるような病院の建設を進めていただきたい。

中学生の防災教育の充実について

議員 本市として、中学生をはじめとする若い世代を地域防災の担い手、リーダー候補として育成するにあたり、世代間交流による防災啓発の視点も踏まえ、今後どのような仕組みや支援策を整えていく考えか。

市民生活部長 防災大学校が防災リーダー育成の大きな役割になっている。学生にとって参加が厳しい時間帯に開催されるため、ズームでの参加やDVDの貸し出しを行っていることを積極的に周知していきたい。

議員 この取り組みが進めば市民が安心して暮らせる地域づくりにつながる。今後も推進して行ってほしい。

学校のLED化への具体的な進展について

ひき こうじ議員（わらび未来の会）

議員 小、中学校の照明機器について、LED化への取り組みはどのようなか。

教育部長 蛍光灯の製造終了等の社会的な動向を鑑み、LED化について早期に着手できるように、実施方法、実施スケジュール等の具体的な検討を進めている。

議員 LED化すると電気料金が安くなると聞いている。学校内の校舎や体育館等を一斉に取り替え、リース等も含めて検討し、全校同時に進めていただきたいと要望する。

イーステーション（エスタ）活用の効果について

議員 全中学校に開設されたエスタについてはどのようなか。

教育部長 教員免許を有するエスタ専任の教員や支援員が常駐しており、不登校傾向にある生徒が安心して過ごせる居場所の確保のほか、継続的で質の高い支援が可能となっている。また、社会的自立を支援するために、通常のクラスと同様に定期テストや進路指導にも対応している。

議員 昨年度までのステップアップルームと比較し、参加人数及び出席率が向上しており、効果が出ていると感じる。相談員、担任等、いろいろな方とも連携して、子どもたちを支えてほしい。

簡易劣化度調査について

議員 教育施設の改修計画についてはどのようなか。

教育部長 他の公共施設と同様に、市の公共施設等総合管理計画及び個別施設計画において長寿命化の方針等が示されており、教育施設においても市の方針を踏まえながら適切に検討していきたい。

議員 公共施設については、簡易劣化度調査を実施しているとのことだが、実施方法及び活用についてはどのようなか。

総務部長 各施設の管理者が実施しており、調査は自己判断としている。結果は、総合的な施設の管理を計画的に実施するために活用している。

議員 調査は第三者の公平な基準がないと判断が難しいのではないか。専門機関に調査依頼を検討しているか。

総務部長 調査の在り方については様々な手法があるので、どの方法で客観的に確認するのがよいか、調査を引き続き行いながら適正に判断していきたい。

議員 早急に専門機関に依頼し、劣化度調査を実施していただきたいと要望する。

ほかに 土壌汚染調査、こども誰でも通園制度について質問。

自律を目指すひきこもり支援

ほんだ ていこ議員（公明党）

議員 厚生労働省が自治体向けに新指針を策定し、支援を大幅に見直し対象を広げたが、本市のひきこもり支援において、新指針との整合性をどのように確保しているか。

健康福祉部長 蕨市生活自立相談支援センターを中心に相談に応じ、関係部署が連携して必要な支援につなげている。また、NPO法人糸ぐるまや南部保健所、埼玉県のひきこもり地域支援センター等の関係機関と連携することで、地域における総合的な支援により、指針との整合性を確保している。

議員 市独自の常設相談窓口や専門職配置を検討すべきではないか。

健康福祉部長 蕨市生活自立相談支援センターは常設ではあるが、ひきこもりに特化していない。専門的な相談は、関係機関と連携を図りながら支援を行っている。現状の体制を維持しつつ、支援の充実に向けて検討していきたい。

議員 孤立を防止するため、家族会や当事者会を市が支援すべきではないか。

健康福祉部長 市内には家族会や当事者会はないが、市の関係部署や南部保健所等の関係機関と連携しながら、ひきこもり当事者や家族の相談支援に努めていきたい。

議員 家族も支援の対象という視点で、相談機関につながるよう支援していただきたい。

支援に繋がらない方の把握のために、実態調査を行ってはどうか。

健康福祉部長 先進自治体の取り組みや、近隣市の動向等を注視するとともに、調査も含めた有効な実態把握の方策について、調査、研究していきたいと考える。

議員 他自治体では、子ども、若者調査と市民生活調査を組み合わせ、ひきこもりの実態を調査している。本市にも実態調査の実施を要望する。

市役所のバイク置き場、駐輪場の再整備

議員 「バイク置き場が分かりにくい」「駐輪場出入口の段差が危ない」等の声があり、安心して利用できる整備をお願いしたいが、どうか。

総務部長 バイク置き場については、案内のサインを増設し、周知を強化してきた。より分かりやすい案内となるよう、今後もサインの設置等により対応していく。駐輪場についても、安心して利用できるよう環境整備に努める。

暮らしや営業を支える物価高騰対策を

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 物価高騰による市民生活や市内事業者への影響についての認識はどのようか。

総務部長 物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、市民生活に大きな影響を与えている。

市民生活部長 中小、小規模事業者が多い市内事業者にはコスト増や価格転嫁の難しさなどの影響。県商工会議所連合会のアンケートでは、市内事業者の約9割が影響を受けていると回答している。

議員 本市が行う物価高騰対策の意義及び検討にあたっての見解はどのようか。

総務部長 重点支援地方交付金などの動向を注視し、財源なども勘案して対策を検討。

市長 実質賃金10か月連続マイナス、年金等は物価スライド分まで上がらないなど、あらゆる世代で影響を受け厳しい生活と認識。これまで4回の独自対策で、織りなすクーポン、ペイペイポイント還元キャンペーン、水道基本料金4か月無料化、給食費の無償化などに取り組んできた。現在も、独自補助での給食費据え置き、プレミアム付きデジタル商品券事業を実施し効果を発揮。さらなる対策は、国の交付金も最大限活用しながら、幅広く家計を応援し市内事業所の売り上げ拡大につながる観点で最大限努力する。

議員 修学旅行費用の補助など、教育に関する負担軽減策を検討する考えはないか。

教育部長 就学援助制度に基づき認定を受けた家庭には修学旅行費を含む経費の一部を補助している他、学校給食の第2子以降無償化、デジタルドリル購入などを実施している。さらなる負担軽減策については財源確保などが課題。

国民健康保険について

議員 国民健康保険税に関する検討状況はどのようか。市民生活部長 広域化から3回の税率改定を行ったが、県の標準保険税率から推計される必要保険税調定額との乖離が見込まれ、来年度はさらに不足率が拡大する可能性が高い。税率改定については国民健康保険運営協議会で慎重に審議していただいている。

議員 国民健康保険税は、据え置きを含めて市民負担を最小限とするように検討してほしい。また、マイナ保険証の更新などのトラブルを見据え、資格確認書を全ての被保険者に交付する自治体もある。本市でも実施するよう要望する。

ほかに 生活保護に関する課題について質問。

令和8年度予算編成について

おおいし こういち議員（公明党）

議員 現在、本市では蕨駅西口再開発、市立病院建設、蕨戸田衛生センター火災に伴う負担金等、待ったなしの公共事業が重なっており、令和8年度当初予算をどのように編成し、限られた財源をどこに振り分け、どこを守るか、市としての優先順位と将来の見通しがこれまで以上に重要な意味を持つと考える。そのような中、蕨市公明党として、市長に対して市民の生活を守るため、195項目の令和8年度予算と重点支援地方交付金についての要望を行った。

物価高騰や人件費上昇の環境下で、市民サービスを維持するためにどのように考え、方針を整理しているか。

総務部長 国や地方並びに当市の動向を踏まえ、「市長マニフェスト」や「『コンパクトシティ蕨』将来ビジョンII」に基づく施策の進捗に向け、計画的に取り組むとともに、将来にわたって自立した行財政運営を図っていくことが重要であり、直面する様々な課題を念頭に、持続可能な市民サービスを提供できるよう方針を整理している。

市庁舎内のBCP対策におけるLPガスの導入について

議員 災害時に市役所の電源が失われれば、災害対策本部が稼働せず、通信、情報共有、避難所支援、緊急判断等、行政活動が大幅に停滞してしまう。これだけは絶対に避けなければならない。非常用発電のエネルギー源として、現状の太陽光パネル、軽油に加え、劣化しないLPガス発電機の導入を検討すべきと考えるが、本市の見解はどのようなか。

総務部長 現在、市庁舎には、10キロワットの太陽光発電設備を備え、非常用発電機が72時間稼働できるよう5千リットルの軽油を備蓄している。また、LPガス発電機の導入等については、次回、更新の際や動力の拡充が必要な場合に備え、調査、研究していく。

議員 ビーシーピー改定における燃料の多重化、避難所へのLPガス発電機導入について、市長の見解はどのようなか。

市長 全ての避難所にポータブル型発電機の備蓄を進めているが、最近では町会、自主防災会でもガスボンベ方式を備蓄しており、BCPのエネルギー多重化という視点は重視していきたい。

議員 検討していただき、市民の皆さんが安心して暮らせるよう取り組んでほしい。

ほかに 指定管理者制度について質問。

地域社会における多文化共生の現状について

すずき しんのすけ（日本維新の会）

議員 令和7年3月定例会の代表質問でも取り上げたが、外国人住民が家の敷地内で野菜等を販売

し、買い物客が止めた自転車や自動車によって、通行人が通りづらくなっている。市でも駐車禁止等の周知、啓発をしていることは承知しており、運営している方も、事故が起きないように、気をつけながら販売していただいているが、未だ解決していない。学生や高齢者が多く通ることから、安全上の対策等といった周囲への配慮を、もう一步踏み込んだ指導をすることはできないか。

市民生活部長 場所が川口市との市境であることから、川口市や川口警察とも協力し、駐車禁止の電柱マークを掲出しているが、もう一步踏み込むことへの権限は、どこの所管にもないことが一番の懸念である。今後も、お願いというかたちにはなるが、解決に向けて探っていければと考えている。

議員 私と一緒に、問題解決に向けて取り組んでいく。

多文化共生を進めるに当たり市長の見解はどのようなか。

市長 日本の文化やルール、生活習慣をきちんと伝え、理解してもらい、守ってもらう努力が大事。その上で、個別具体的な問題をしっかり解決していくことで、みんなが気持ちよく暮らせる多文化共生のよりよい姿につながるのではないかと考えている。

本市の産業の現状と未来について

議員 蕨駅西口地区市街地再開発事業に伴い、集客増が期待される一方、地価や賃料の上昇も見込まれる。こうした変化を踏まえ、期待される効果、既存周辺店への影響についてどのように考えているか。

都市整備部長 駅前を行き来する人の増加と、プロムナード西側に整備される広場でのイベントを通じて、活気やにぎわいが生まれ、まちの活性化につながる等の効果が期待されている。また、歩行空間の整備により、回遊性が高まり、新たな人の流れが生まれ、既存の周辺商店にも新たな集客機会が増加する等、蕨駅西口駅前通り整備との相乗効果も期待されている。

議員 蕨駅前には個人商店等が残っていて、下町のような情緒あるところが、まちの魅力と感じている。そういった商店も残しつつ、市外からも人が訪れるようなまちづくりを進めてほしい。

適正な水道料金算出を

まえかわ やすえ議員（わらび未来の会）

議員 県水の値上げに伴い、また、昨今の物価高騰の面からも、水道料金の適正な価格の検討をしてきた経緯がある。今回の水道料金値上げの考え方はどのようなか。

水道部長 水道事業の継続的な運営を担保しつつ、市民生活への影響を最小限にとどめることが重要だと考えた。

議員 上下水道審議会で検討し、答申がなされたが、上程された改定案との乖離についてはどのようなか。

水道部長 水道料金改定率は、答申では38.88%、改定案では9.59%となっている。物価高騰による市民生活や企業活動への影響を考慮し、判断したものである。

議員 資産維持費は、既存の設備更新等に充てる自己資金と考えており、その適正額は将来における設備投資の自己資金割合の30%から50%が望ましいと言われている。資産維持費が減少すれば、投資ができない可能性があるのではないか。

水道部長 改定案は、令和8年から10年までの算定期間において行うべき維持管理や更新等は十分可能であり、その上で資金残高も確保できると考えている。

議員 市長の見解は。

市長 黒字経営をしながら、設備投資し、資金残高も維持した上で、3年後に在り方を検討するというので、水道料金の改定案を提案させていただいた。物価高騰の中で、安定経営をしながら、市民の皆様には一定のご負担をお願いするということをご理解いただきたい。

議員 本市は今、市立病院や公民館等の複合施設の建設、焼却炉の火災等、一般会計は潤沢ではない。だからこそ、水道事業は独立採算事業として自分の力で補っていくことが必須であると考えている。また、下水道についても、流域関連5市で値上げ等の検討がされているとのことで、動向を注視していきたい。

道路補修工事について

議員 ぶぎん通り商店会と蕨西口みゆき商店会はインターロッキングで施工整備されているが、安全性の確保についてはどのようなか。

都市整備部長 インターロッキング舗装は経年的な変化によりブロックのずれが発生することがあり、適宜部分的な補修も含め対応している。

議員 対処療法だけでなく、現況を把握し、全体を見直すことを強く要望する。

高次脳機能障害について

みやした なみ議員（無所属）

議員 高次脳機能障害は、脳梗塞等や事故により起こり得るもので、日常生活や社会生活に大きな影響を及ぼすことがある。令和5年9月定例会の一般質問で問題提起した後に前進している取り組み等はどのようなか。

健康福祉部長 ポスターの作成や市ホームページを活用した周知、啓発を行った。また、地域自立支援協議会を中心に、支援機関の関係づくりや情報共有の強化に取り組んでおり、適切な支援につながる地域づくりに努めている。

議員 精神障害者保健福祉手帳等の更新時期をラインでお知らせしてはどうか。

健康福祉部長 公式ラインに通知の機能を追加することで、料金の発生や運用面での調整が必要となることから、先進事例や近隣市の動向等を踏まえて調査、研究していく。

議員 日常生活用具の給付について、高次脳機能障害の特性に配慮して、電磁調理器等を対象とすることを要望する。

香害、化学物質過敏症 理解を深め周囲の方へ配慮を

議員 香害とは、化学物質過敏症の一つで、香料に含まれる化学物質に触れたり吸い込んだりすることで、頭痛や吐き気等の症状が出ることもあり、症状に苦しんでいる方が多くいる。市の各種イベント等で周知、啓発を行ってほしいがいかがか。

健康福祉部長 健康まつり等、イベントで啓発ポスターを掲示する等、周知の機会を増やしていく。また、市ホームページにおいても、香害や化学物質過敏症について周知するページを作成する等、理解と配慮が広がるよう、新たな周知、啓発に取り組んでいく。

議員 子どものうちから予防と対策が必要である。学校等、教育の現場においても、引き続き周知、啓発することを要望する。

DV対策及び困難な問題を抱える女性支援基本計画素案について

議員 本計画素案では、暴力の定義の記述がない。明記されることが望ましいと考える。また、目標を「DV被害者、困難女性等への暴力根絶」と「安心し、自立して暮らせるまちづくり」とすることを提案する。これらの提案を前向きに捉え、改善してほしいが、見解はどのようか。

市民生活部長 いただいた各種提言については、極力ご意向に添えるよう検討していく。

居心地の良い新図書館の整備をめざして

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 新図書館ではどのような工夫がなされるのか。

教育部長 家でも、学校や職場でもない、第3の居場所「サードプレイス」として、みんなが思い思いの時間を過ごす「お気に入りの場所」となるような空間づくりを工夫していく。

議員 中高生の居場所づくりとして期待する。また、自転車で利用する子どもたちのために駐輪場の整備はどうか。

教育部長 中高生の居場所となるような空間をつくり、グループ学習室を設ける。

市長 子どもたちが利用しやすい施設にしていくために駐輪場は大切な課題だと考える。誰でも使いやすい駐輪場の整備に向けて、再開発組合と協議していく。

議員 南公民館への分館設置の場所や規模についてはどのようか。

教育部長 南公民館2階のラウンジにパーテーションを設置し、約半分を分館として書架やテーブル、椅子等を設置する計画。他の分館と同程度の所蔵数となるよう整備する予定。返却ポストを館出入口の外に設置。予約図書は1階の事務室で受け取れるよう、令和9年度中に供用開始できるよう検討を進める。

平和行政の推進を

議員 小、中学校で被爆者の生の声 語り部を聞く機会を設けてほしいがどうか。

教育部長 今年度は、東小学校、中央小学校、第二中学校において、被団協の会の方をゲストティーチャーとして招き話を伺う学習を予定。南小学校や塚越小学校においては、埼玉県の出前講座を利用して、講師を招き戦争時の生活について学習している。西小学校や第一中学校については、戦争についての映像資料を活用した学習を計画。被爆体験や戦争体験を直接聞く機会は大変有意義なものとする。埼玉県の出前講座や映像資料なども活用しながら平和学習が効果的に進められるように支援する。

子育てするならわらび 保育行政の推進を

議員 子育て短期支援事業を実施するにあたっての課題や検討状況はどうか。

健康福祉部長 令和8年4月からの実施に向けて、乳児院やファミリーホーム、母子生活支援施設と委託について協議をしている。

ほかに 緑川での特定外来植物の駆除について質問。

子どもたちにしっかりとした給食を

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 物価高騰により学校給食の食材確保についても苦労していると聞く。

どのような工夫を行っているか。

教育部長 価格が高騰している特定の肉や野菜等を、比較的安価で手に入る別の食材に変更するなどしている。具体的には急激な価格変動が少ない冷凍野菜の使用の検討や、安価でたんぱく質が摂れる鶏肉に切り替えるなどした。

議員 給食費の完全無償化については、市は国の動向を見るという姿勢だが、一方で、給食費を値上げせずに物価高騰分を補助している。補助額はどのようなか。

教育部長 今年度は小、中学校ともに、1食当たり35円を補助している。

議員 その額では厳しくなっている。保護者からは無償化を望む声のほか、「給食費を値上げしても構わないのでしっかりとしたものを食べさせてほしい」という声もある。1食当たりの補助額を上げるべきではないか。

市長 金額については野放図にはいかないが、必要な栄養のある給食を提供する前提で、支援を行っていきたい。

古くなった点字印刷機の更新を

議員 南公民館に設置されている、市内で活動する点字ボランティア団体が使用する点字印刷機が老朽化により活動に支障が出ている。新たに購入してほしいという要望があるが、市としての考えは。

健康福祉部長 現在の機器の不具合については相談を受けている。視覚障がい者の支援に欠かせないものであると認識している。

議員 新年度予算にて購入していただきたいが、いかがか。

市長 点字サークル「あじさい」さんには通常の視覚障がいの方への支援のほか、コロナ禍では案内の点訳をしていただくなど、重要な役割を担い、市から通知する封筒にも点訳をつけるといったこともお力添えいただいている。大切に使用してきていただいたが、老朽化しているという話は私も聞いた。視覚障がいの方への支援、子どもたちへの教育という点でも欠かせないものであるので、新年度に新しいものが購入できるよう予算編成し、この活動がさらに充実するよう取り組んでいきたい。

ほかに 市内に貼られた違法チラシ、たばこのポイ捨て等について質問。

ヤングケアラーや子どもたちからのSOS。心の通う支援を

かなまる けんじ議員（わらび未来の会）

議員 こども計画策定時にSOSを訴える子どもの声が多く聞こえ、対応をお願いしてきた。困っている児童、生徒を把握するため、記名式アンケートを行うとのことだが、対象人数はどのようなか。

健康福祉部長 市内小、中学校に在籍する小学4年生から中学3年生を対象に実施し、人数は約3千人となる。

議員 3千人にアンケートを行い1人ずつアプローチしていくという、地道だが大切な取り組みに踏み出していただいた。「蕨に生まれてよかった」という子どもが増えるよう、引き続きお願いしたい。

全ての市民が期待できる経営ビジョンの明示を

議員 「かかりつけ医機能報告制度」を受けて、市立病院が担う役割をどう考えるか。

病院事務局長 当制度は、複数の慢性疾患や医療と介護の複合ニーズを有する高齢者の増加と、生産性人口の減少が見込まれる中で、治す医療から「治し支える医療」を実現していくために、例えば総合診療医の育成等、地域において必要な「かかりつけ医機能」を確保していくための一つとして整備されたと認識している。当院は、これまでも患者の医学管理と重症化予防、地域の医療機関等との連携、診療時間外の対応、更に在宅医療支援や介護等との連携等、かかりつけ医機能を有した医療機関として、その役割を果たしてきているが、その役割を更に高めていくことが重要であると考えている。

議員 今後の資金繰りの見通しはどのようなか。

病院事務局長 これ以上の現金の減少は経営に影響が出るおそれがあり、一般会計からの繰出金等による措置が必要になる。

議員 税金を使い市立病院を維持していく中で、経営改善に加えて、全市民に医療機能、健康増進面で寄与していくことも大事である。また、昨年度、市立病院は年間の医業収益が約25億円あり、設備投資やソフト面、人員面での投資も大事である。本市にとって大事な局面であり、議員として全ての選択肢を持ってこの問題に当たっている。新病院のダウンサイジングも含め、正確な裏づけに基づく経営改善プランを3月議会を目標に出していただきたい。

ほかに 「困窮する子どもを見つけた後の支援方法」「病院ホームページの改善」等について質問。

児童、生徒の登下校の安全確保について

こばやし りき議員（しんしょうかい）

議員 15年間、毎朝通学路の横断歩道に立ち、子どもたちを見守ってきたが、交通マナーは悪化の傾向にあり、子どもたちを守るため、注意を促す場面では快く思わない人から、嫌な顔をされたり、感情的な言葉を返されることもある。また、大きな重機を乗せたトラック等が子どもたちの脇を通り抜けて行くことがあり、重大な事故につながるのではないかと危惧している。私が立つ横断歩道は、中央東小学校に通う児童の約8割が通ることから、学校までの道をスクールゾーンにしてほしいと考えている。中央東小学校周辺のスクールゾーン指定について、本市の見解は。

教育長 中央東小学校からは、直ちに大きな危険を感じる状況ではなく、これまでの見守り活動及び児童への交通安全指導や保護者への啓発活動を継続したい旨の意向が示されている。本市としては、各学校でスクールゾーンの新設や拡充が必要と判断された場合には、学校とともに警察等へ積極的に働きかけていきたい。

議員 ドライバーへの注意喚起を目的とした看板を設置する考えはあるか。

教育長 安全安心課と綿密に調整を図り、必要箇所への看板等の設置に向け取り組んでいく。

下水道使用料の見直しについて

議員 令和7年6月、市長は上下水道審議会に水道料金と水道利用分担金の設定について諮問されたが、下水道使用料の設定を含めなかった理由はどのようなか。

市長 昨年1月の能登半島地震を踏まえ、今年度は「管路耐震化基本計画」及び「ポンプ場ストックマネジメント基本計画」を策定し、来年度、改修を予定しており、経費について徐々に見通しが立つ中、使用料で賄っていく必要が出てきている。今後、審議会に諮問する以上は、使用料の改定を提示した上で、様々な角度から審議していただく材料をしっかりと提供していく必要があると考える。

議員 数年後に下水道使用料の値上げが避けられないことは明確であり、将来の市民負担を見通すためにも、長期的な視点で共通認識を持つことが不可欠である。

ほかに あいうべ体操の取り組みと周知、クールビズ後の男性のみネクタイの着用義務について質問。

市議会ホームページから会議録の閲覧、検索ができます

パソコンやスマートフォンなどで、議会の会議録、本会議会議録、委員会記録をご覧くださいことができます。

会議録の閲覧方法

①をクリックすると、会議の種類と開催年を指定することができ、閲覧したい会議録をお選びいただけます。

会議録の検索方法

②をクリックすると、検索語や発言者の種別など、条件を絞り込んで検索することができます。

蕨市議会報告会ユーチューブにて動画を配信中！

こちらの二次元コードを読み込むと、議会報告会の録画配信や、議会ツアーの動画を視聴することができます。

3月定例会の日程 予定

2月17日 火曜日 開会

25日 水曜日 代表質問

26日 木曜日 代表質問、議案質疑

27日 金曜日 議案質疑、委員会

3月2日 月曜日 委員会、分科会

3日 火曜日 委員会、分科会

4日 水曜日 委員会、分科会

12日 木曜日 一般質問
16日 月曜日 一般質問
17日 火曜日 一般質問
18日 水曜日 委員会
23日 月曜日 閉会

※ 議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

12月12日「3月発行号の概要について」

2月9日「3月発行号の最終確認について」

編集後記

今回の議会だよりでは、12月定例会での一般質問を中心に、市民の皆様の生活に直結する様々な課題への取り組みをご紹介いたしました。議員一人ひとりが将来を見据えた視点から、本市の課題解決に向けて質疑を行う様子や、市政の論点が形作られる過程について、皆様に分かりやすくお伝えできていれば幸いです。

3月は、令和7年度の締めくくりであると同時に、新たな始まりに向けた準備の時期でもあります。市議会といたしましても、一般質問で交わされた活発な議論を、来年度の確かな歩みへとつなげられるよう、皆様からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受け止め、より開かれた議会運営を目指してまいります。

ぜひご一読いただき、皆様の「まちづくり」への参加の一歩として、市議会活動へのご理解を深めるきっかけとなれば嬉しく思います。

広報広聴委員会

委員長、おかだみきお

副委員長、かなまるけんじ

委員、みやしたなみ、すずきしんのすけ、しょうのこうじ、やじまさところ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしけいこ、ふるかわあゆみ